

課題名： コギク、スプレーギクにおける高出力 LED 補光による生育促進	
予算区分： ジャパンフラワー強化プロジェクト	担当部： 普及指導部
実証試験期間： 令和 6 年度	担当者： 青木 論雄
戦略品目： コギク、スプレーギク	協力・分担関係：

1 目的

本県ではコギク生産は露地栽培が中心であるが、市場への距離が近いことを活かし、一部の生産者において施設を併用した作期の拡大が図られている。しかし、施設の立地条件により圃場内の日射量に差があり、コギクの生育にもムラが生じる。そこで LED 灯火を利用し、日中の光照射により生育ムラの改善、品質の均一化を試みる。

2 過去に類似の実証の有無とその目標の達成状況

当該事業におけるコギクでの 3 月お彼岸出荷作型での実証事例は見られない。

愛知県にて輪ギクにおいて 12 月、1 月開花作型にて LED 補光により、草丈が増進し階級率の向上につながっている。

3 方法

(1) 供試品種

パステラファボリ、パステラカバ、パステラロゼ、シャンパンアイボリー
ホーンビルサーモン、ホーンビル、ボンボン、スケーター、ララバイ
バルタザール、バルタザールキャンドル、シャガール、サイレント
精クリスティーナ、精ロッサ、精カーク

(2) 試験場所

コギク、スプレーギク 秦野市平沢 生産者硬質フィルム温室

(3) 試験区

補光処理区 200 m²ハウス（図 1）

高輝度 LED 電球（アスター補光用 LED 電球 40W BT-40C-RW）を地上約 2 m から 2 ～ 2.5 m 間隔に設置。補光処理は定植後、6:00～12:00、15:00～17:00 照射した。

(4) 耕種概要

挿し芽は 11 月 25 日にパーライト用土に挿し芽した。定植は 12 月 25 日から 27 日に開け 13cm 6 目ネットに 2-1-1-1-1-2 で実施した。通路は 40～50cm とした。

定植後、開花抑制のための暗記中断処理（電照）のため、白色 LED 電球（アスター株式会社、BT-9C-R16W24 9W）を 21 時から翌 3 時まで 7 時間点灯した。

温度管理は、日中は 28℃ 換気、夜間は日没後昇温を行い 20℃-14℃ の変温管理とした。

(5) 調査項目

(ア) 開花開始時期、収穫量

開花開始時期について、普及指導員が栽培終了後、生産者への聞き取りを行った。

(イ) 草丈の計測

草丈について、普及指導部担当者が月 2 回、各品種について調査時点で中庸な切り花 5 本を計測した。また圃場の様子を写真撮影した。

4 本年度の結果

施設のコギク・スプレーギク栽培において、立地条件により圃場内の日射量に差があり、生育にもムラが生じる。そこで高出力 LED 灯火を利用し、日中の光照射により生育ムラの改善、品質の均一化を試みる。3 月お彼岸向け出荷作型において、草丈及び市場・直売ごとの出荷量、金額等を調査中。



図 1 試験ほ場 上空写真

表 1 各品種 詳細

種苗会社	番号	品種	花型	色	到花日数
デュメオレンジ	1	パステラファボリ	デコラ	オレンジ	49
	2	パステラカバ	デコラ	アイボリー	49
	3	パステラロゼ	デコラ	ピンク	49
	4	シャンパンアイボリー	デコラ	アイボリー	52
	5	ホーンビルサーモン	デコラ	赤	52
	6	ホーンビル	デコラ	ピンク	52
デリフロール	7	ボンボン	ボンボン	ベージュピンク	52
	8	スケーター	デコラ	緑	52
	9	バルタザール	スパイダー	赤縁緑	52
	10	ララバイ	デコラ	ピンク	45
	11	バルタザールキャンドル	スパイダー	複色	52
	12	シャガール	デコラ	オレンジ	52
	13	サイレント	ボンボン	白	49
イノチオ精興園	14	精クリスティーナ	デコラ	ピンク縁緑	56
	15	精ロッサ	デコラ	赤	52
	16	精カーク	ボンボン	黄	49

表 2 各品種定植図

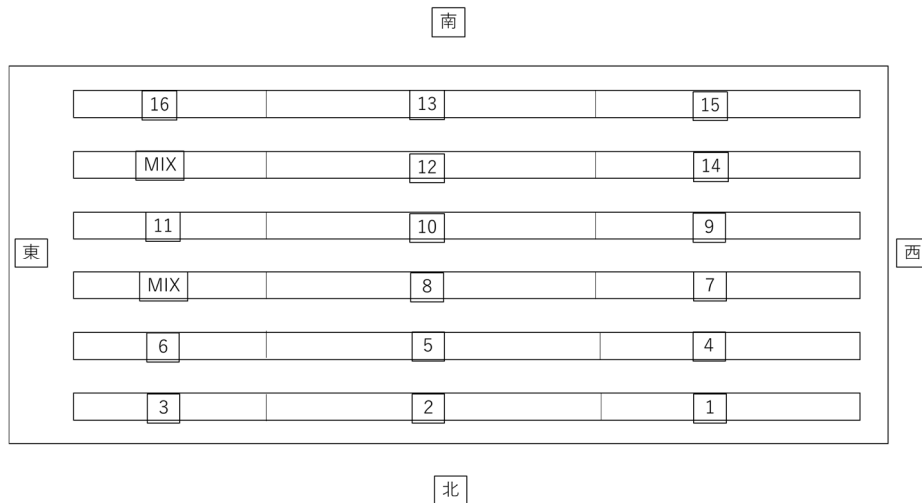
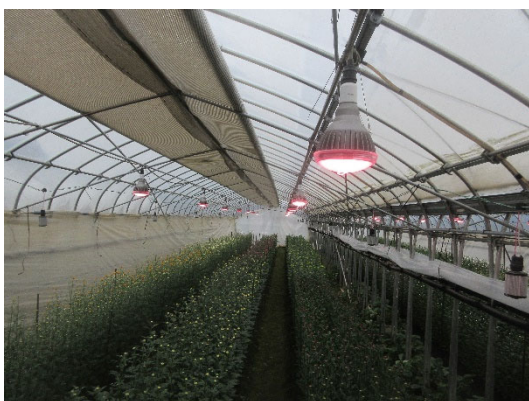


表 3 各品種 草丈データ(3/4次点)

品種名	草丈(cm)
パステラファボリ	83.2
パステラカバ	81.6
パステラロゼ	77.6
シャンパンアイボリー	78.0
ホーンビルサーモン	78.2
ホーンビル	71.2
ボンボン	67.8
スケーター	83.4
バルタザール	77.6
ララバイ	82.8
バルタザールキャンドル	83.0
シャガール	89.2
サイレント	80.8
精クリスティーナ	83.8
精ロッサ	54.4
精カーク	80.8



圃場内の LED の様子